

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2011年2月15日

13

2011春闘スタート!

賃上げ要求

ベースアップ2000円

55歳以上の賃金ダウン改善

契約・臨時社員、嘱託及び嘱託社員の基本給改善
職場環境や諸制度の改善など諸要求



申し入れ書を田村副社長へ手渡す
伊藤中央執行委員長

本部は本日13時から「2011年度新賃金要求の申し入れ」(申6号)及び「諸要求に関する申し入れ」(申7号)を行ないました。今回は本社移転後初めての団体交渉であったことから、申し入れの前段に本部は以下の指摘を行いました。

- ・これまで会社に 役員数の削減、役員報酬のカット、本社ビルの移転を求めてきたが、当時は黒字確保優先として本社移転はしないと断っていた。しかし事前に十分な説明もないまま新宿に移転した。組合の指摘に十分応えていると言えない。
- ・年末からの大雪により輸送混乱が長引き、職場は大混乱となった。天災ではなく人災とも言われている。冬季対策について旅客会社に申し入れ等行い、何が問題なのかハッキリするべきである。

以上の2点について厳しく本社姿勢を糾し、申し入れを行いました。

組合

昨年の定昇半年見送りは生涯賃金への影響を最小限に留めるように判断してきたが、組合員への傷跡はまだ残っている。改めて定昇は4号俸実施することを痛感している。連合は賃金1%改善を掲げている。JR総連の方針のもと、私たちも賃金改善を求めていく。また諸要求についてもこれまでベア実施もない中の切実な要求であるので実現されたい。

会社

22年度は絶対黒字にしなければならないと取り組み、貴組合にも協力を求めてやってきた結果、よほどの事がなければ黒字計上が確実視されてきた。しかし会社を取り巻く状況は危機的状況を脱した訳ではない。来年度以降も黒字基調を続けていく必要がある。3月18日まで議論を交わしたい。

組合員の皆さん! 私たちはこれまでの間、定期昇給の半年間見送りの中にあっても、鉄道貨物輸送の重要性を訴えるべく要請行動を展開し、職場においては雪害による輸送混乱に対して不眠不休で取り組んできています。黒字が確実視されているのであれば、ベアを実施し組合員に還元すべきです。

ベア獲得、諸要求の実現に向け、全組合員の総力を結集し、11春闘を職場からのたたかいで勝利をかち取ろう! 本部もその最先頭で奮闘します!!

次回交渉は2月28日(月)です。

以上